

平成 29 年度事業報告書

特定非営利活動法人ハニー・ビー

I 事業期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

II 事業の成果

2017 年度（平成 29 年度）は、将来働ける子どもたちを育てるには、就学中の療育支援が大切だとの思いがあり、4 月 1 日、ハニー・ビーにとっては 3 つ目の障がい児の通所支援事業所を豊中本町に開所し、「障がいがあっても社会参加は当たり前」のミッションに基づき、ハニー・ビーにしか出来ないキャリアアップ支援を主眼とした「プレ就労応援型」の放課後等デイサービスを目指しました。残念ながら、児童指導員の退職などに伴い、人員の補充体制の確立が困難な状況になったため、3 月にひとまず休止の状況で大阪府には届出しております。

通所事業所に関しては、沢山の事業所が乱立し、保護者のニーズに応えることがサービスの質だと言われる中で、わたしたちが経験で培い、気付きから作ってきたものを、マイ児童デイサービスそれぞれの事業所において、小さな集団療育でのプログラムを信じて進めていく中で、今は難しくとも将来を見据えて、寄り添いながら障がいのあるなしに関わらず、地域社会で共にあるべき姿をめざしていけるようサービスの充実を図りました。

また、昨年度同様に支援の航海図となる「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に基づく一般相談支援事業と「児童福祉法」に基づく障がい児相談支援事業の充実を図るべく、相談支援センターハニー・ビーでは、ひとり、一人に丁寧に向き合い、利用者、その保護者のニーズを聞き取る（傾聴する）場面を大切にしながらも、今現在の生活の質を把握することで、将来を見据えて今よりも生活の豊かさを実感出来る様な支援を心がけ、アプリコット介護サービスでの個別支援、マイ児童デイサービスでの小集団での支援それぞれとの連携により、サービス質の向上を図りました。また、スタッフ研修にも力を入れることで、個人のスキルアップにも繋がったと思っています。

アプリコット介護サービスでは、『ご利用者様にとってのよりよいサービスの提供』について考え、サービスを受けていただくことは勿論ですが、敢えて将来を見据えての提案ができる関係性作りを心がけました。ご提案することによって、双方にとって少し負担になることもあります。サービスの在り方に一考を投じたお陰で、提案時には、「そんなこと、出来る訳がない」と消極的だった思いも、少しずつ新たな経験値が増えるなど良い結果に導かれることで、「今までとは違った生活」へと展開されたことで、結果的には利用者、家族からも喜ばれるという場面もありました。

マイ児童デイサービス（そね）では、スタッフの育成とコミュニケーションの充実に関心をもちました。放課後等デイサービス事業の更なる拡充を図りました。今年度も『生活する上での基本動作の習得』を目標に掲げ、来所することもたちに毎日しっかりと前もってのシミュレーションや細かな気付きをスタッフで情報共有し、一人ひとりに目を配りプログラムを継続することで、理解したうえでの活動が出来たのではないかと考えています。

マイ児童デイサービス（はっとり）では『あいさつをしよう』という目標を掲げて取り組み、

毎月コミュニケーション講座というプログラムを取り入れ開催することにより、『あいさつをする意味』『ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上』が図られました。

マイ児童デイサービス（豊中本町）では、積水ハウスマッチングプログラムの助成をいただき、新たな取り組みとして「プレ就労応援型」の放課後等デイサービス事業所として開設しました。豊中本町事業所では、設立当初からの法人の理念である「障がい者の自立と就労参加の実現」に基づき、『将来、働けることをめざして』、放課後等デイサービスに通う中で、より就労への意識付けを行うことを目標に様々なプログラムに取り組みました。

マイ児童デイサービス豊中本町に関しては、新たな取り組みにチャレンジしましたが、残念ながら利用者確保が難しい、児童指導員確保等の諸事情もあり、29年度で休止をすることとなりました。その後の利用者の受け皿としては、はっとり事業所で活動を継続することで保護者からの承諾を得ました。

そね、はっとり、豊中本町事業所とも、豊中市内でも40を越す、多くの放課後等デイサービスが開設される中、他の事業所との違いを明確にし、豊中市で最初の民間事業所として自負を持ち、『将来を見据えた充実した療育支援の場』としてのサービスの提供に力を注ぎ、個別支援計画での保護者面談の際のアンケート結果でも概ね高い評価を得てきました。

今後も障がい児への支援環境は大きく変わっていくと思います。家庭支援や兄弟支援、また医療的ケアが必要な障がい児への支援も含め、障がい児支援についてどう考えるのか、障がい児支援の質の向上をどのように図っていくのかも考える時期に来ていることを痛感しています。特に、障がい児通所支援については、支援が必要な障がい児のニーズや放課後子どもクラブや日中一時支援事業との役割分担にも留意をしながら、障がい児に対する放課後等デイサービスでの支援内容の適正化を図っていきます。

放課後等デイサービスの現状：平成29年4月時点で、全国で10,613か所の事業所があり、前年度より27.1%増加し、平成28年度の総費用額は1,940億円で障がい児支援額全体の68.5%を占めている。1月あたりの利用児童数は平均14万人で前年度より25.2%増加している。実施主体も営利法人が半数近くを占めている。全ての項目において新制度が始まった平成24年4月以降、大幅な増加を続けている。 ※出典：国保連データ

一昨年度に開設した就労移行支援事業では、利用者に対しての広報活動等の効果も少しずつですが、出て来ています。今年度も夏休みには、利用者の獲得をめざして事業所独自で見学・説明会を実施し、支援学校やハローワークにも声をかけましたが、利用者獲得には至りませんでした。しかしながら、立地を活かしての店頭での販売活動や店内のレイアウト変更、「なかまの店」をアンテナショップとした広報活動をしながら、ハニー・ビーとしてのめざすべきものを確認し、各事業所の連携だけでなく、他の就労移行支援事業所との連携も進めてきました。職員の定着化とスキルアップをめざして施設外研修の充実も図りました。

また、就労移行支援事業を経験する中で、保護者を含め障がい者自身が限られた期間での就労実現に不安を抱える人も多いことを知り、期間にとらわれず個々の特性を引き出す場として就労継続支援事業の必要性を痛感し、就労移行支援事業に併設する形で「ハニー・ビー ジョブB型」事業所を開設しました。就労移行とB型の2つの「ハニー・ビー ジョブ」が多機能型として訓練実習を連携しながら進め、利用者の就労への自信に繋がる支援の強化を図りました。

NPO 事業では、法人としての目標として掲げている『地域の方々に愛される法人』をめざして、今年度も様々な気付きに繋がる活動を開催しました。

毎年恒例行事になりつつある『サポートが必要なこどもたちとの宿泊体験 IN 淡路島』は8回目を迎え、7月29日、30日の2日間無事に事故なく、多くのボランティアや宿泊先の

協力もあり、日程通りに終了することが出来ました。

2012年より毎年開催の、であい・しりあい・わかりあい=3あいの大切さを地域と共有するイベント、『みんなでワイワイさんあいイベント』を、今年度も10月29日に豊中市服部西町のふれあい緑地の芝生広場での開催予定でしたが、残念ながら台風が接近し大雨になり、前日に中止を決定しました。

『サポートが必要なこどもが主役の料理教室』は毎月1回の計5回開催し、いずれも定員の10名を越す参加があり、料理ボランティア、サポートボランティアにお手伝いをいただき、無事に事故もなく、実施することが出来ました。感想でも「料理って楽しい」「美味しかった」「おうちでも作ってみたい」など前向きなものばかりでした。

また、『親子療育プログラム』に関しては、以前から保健所の保健師、地域の保育士や社会福祉協議会、福祉委員会などが「地域の就学前のこどもたち」を対象にそれぞれの地区で「親子教室」に類似したものに組み込まれているという状況もあって、本当に子育てに悩んでいる親子には、私達の思いが届かなかったようです。毎回、予定していた人数の半分以下の実施となり淋しい結果となりました。しかしながら、どこかには届いたと信じて関わりを続けていく思いを持って、終了することになりました。

4事業とも、独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成活動事業として実施しました。

ハニー・ビーでは、毎年度当初に活動基本方針として「ハニー・ビーの活動を進めるにあたって」を全職員に示しています。基本方針では、より信頼されるサービスの向上に向け、「職員の質の向上と専門職としてのプライド」を掲げています。

基本方針に従い、スタッフの研修機会の充実をめざして、豊中市の『出前講座』をフルに活用して様々な分野での見識を深めました。また、特定非営利活動法人で『働く意義』など、働くことに生きがいややりがいを実感できるような環境を整備して、障がい者福祉に長い間、関わり続けてもらえる人材の育成に取り組みしました。今後も法人のミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前～みんなにやさしい共生社会の実現～』をめざして活動続けてまいります。

Ⅲ 事業実施の状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業区分「障がい者（児）の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、見学会

【事業名】 講演会事業

【事業内容】 昨年度に引き続き豊中市立野畑小学校保護者会において、講師として「八木さん、教えて!」という題目で、ざっくばらんに1時間30分程度、自身の思いを語りました。

豊中市で重度知的障がいの息子を持つ母として、地域で子育て・親育ちをし、その中で、自身の思いや体験から学んだことで、特定非営利活動法人ハニー・ビーを立ち上げ、豊中市で民間初の放課後等デイサービスの運営を手始めに、地域と連携し療育支援、相談支援、就労支援などの事業を展開してきたこれまでのことと、今小学生の保護者であるお母さんたち自身が疑問に思っていること、困っていること、分からないことなどと重ね合わせながら、テーマを絞らずにいろんな目線からのお話をお茶をのみながらざっくばらんな形式で進めました。

【実施場所】豊中市向丘 豊中市立 野畑小学校 ひまわりの部屋

【事業の対象者】野畑小学校 支援学級在籍の保護者など 15名

【活動報告】 今年度も、豊中市立の小学校支援学級に在籍するこどもを持つ保護者を対象にお話をさせていただきました。昨年度お話したと重複する部分もありましたが、興味を持って熱心に聞いてくださいました。質問では「しんどい」「どうしたらよいのか」と涙を流して訴えていた保護者もおられ、わたし自身は幸運にも皆さんに助けていただきながら歩んできたこと、決して一人で切り開いたものではないこと、ご縁を頂戴した皆さんの存在が大きかったことなどをお話させていただきました。今年度も「野畑小学校だけでなく、ほかの学校の保護者とも繋がれる場になって良かった。」と後日メールをいただき、今年度も、みなさんから多くのことを学ばせていただいた楽しい講演会となりました。

(2) 事業区分 療育支援事業

イ【事業名】就労支援プログラム（トレーニングジョブ＝トレ・ジョブ）事業

【事業内容】 主に知的・発達障害のある子どもたちと就労体験が出来るところをマッチングし、サポーターと共に地域での草の根的な支援者、事業者への理解を深め、また当事者も体験値を培う就労プログラムを実施しました。

【実施日時】 通年随時

【実施場所】（学）育保学園 （熊野田幼稚園、くまのだ保育園）

【事業の対象者・人数】 就労をめざす子ども達等 延べ100余名

【活動報告】 豊中市内にある事業所を中心に10年前に始めて、継続しています。元気なうちにはなかなか、考えるのですが、「親亡き後の障がいのあるこどもの将来」を見据え、思いを馳せてみる機会になればと思っています。どうしても「迷惑をかけはしないか」と先に考えがちですが、そうしたマイナスのイメージの払拭に努めたいと思います。
実習先でのお話：「元気な声が出ることもたまにありますが、夏の暑い日にも手を抜かずに、一生懸命、水撒きや草抜きする姿に『真摯に仕事への取り組む姿勢』が感じられました。園児たちもまた先生方も応援しています。いつも有り難うございます。」

ロ【事業名】宿泊体験事業

【事業内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、『第8回サポートが必要な子ども達との宿泊体験』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催しました。サポートが必要な小学4年生から18歳までの25名が、保護者と離れて様々な体験をする中でルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験事業を行いました。

自然の中での体験を通じて、グループ活動をする際にチームワークの大切さなどを学びます。また、サポーター（ボランティア）も日頃あまり、出逢うことのない、サポートの必要な子ども達との関わりから理解や意識も変わっていくことに繋がるように企画をしました。

【実施時期】平成29年7月29日（土）～30日（日）

【実施場所】兵庫県南あわじ市 じゃのひれコテージなど

【事業の対象者】チャレンジャー・サポーター合わせて 53名

【収益】 1,264,824 円（うち助成金 720,000 円含む）

【費用】 1,264,824 円

【活動報告】 今年も、事故なく無事に終了することが出来ました。サポートが必要な子ども達、保護者にとっても『将来の社会参加や自己実現を達成』するには、信じることに、沢山の『体験値を積み重ねること』が重要だと実感していただくための事業になったかと自負しています。

知的・発達障がい児に特化した活動として今回も回を重ねることが出来ました。体験することを諦めることが多い保護者に対して、今回始めて参加して下さったサポーターにも有意義な宿泊体験になったのではないかと思います。

ハ【事業名】地域連携事業

【実施内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、『第6回みんなでワイワイさんあいイベント』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催し、服部西町にあるふれあい緑地の芝生広場を会場に、地域の住民の皆さんと『であい・しりあい・わかりあい＝3つ2つのあい』で、障がいのあるなしに関わらず、顔の見える関係性作りに寄与できればと、近隣住民の皆さまや地域にある小中学校に広報し、また直前の10月4日には、こども広報委員として豊中市役所での広報活動に出かけ、子ども達も準備の段階から知恵を出すなど実際に活動に積極的に取り組むようにしました。

その中でも、初めての場所であったり、体験したことがなかったり、これらの体験を通じて人と関わる成功体験から折り合いをつけることを学びます。準備からの関わりに重きを置いたのも、目立ったステージでのパフォーマンスをするにも、積み重ねた結果が、大事だということなどから体験からの小さな意識変革が出来る様にと目標を掲げました。

【実施時期】 平成29年10月29日（日） 10時30分から16時

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい緑地

【事業の対象者】 市民など 2,300名程度

【収益】 925,868 円（うち助成金 920,000 円含む）

【費用】 925,868 円

【活動報告】 残念ながら、台風22号の接近とその影響による大雨とによりやむなく初の中止を余儀なくされました。近隣地域の人をはじめ、多くの皆さんから「楽しみにしていますよ」とお声かけをいただき、お手伝いにもエントリーをいただいております。年々賑わいと共に地域の皆さんとの関わりが出来てきました。安全第一に考えた今回の中止も『雨ふって地固まる』となるのを確信しております。

二【事業名】支援が必要な子どもたちが主役の料理教室

【実施内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、『支援が必要な子どもたちが主役の料理教室』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催しました。サポートが必要な子どもたち自身が保護者以外の料理サポーターをはじめとしたボランティアの人達と関わりを持ちながら、「料理を作る」楽しさを感じ、経験値を高め、日常生活の自信につながることを目的に、この料理教室を開催しました。

【実施時期】 平成29年6月24日（土）から11月18日（土）までの間、計5回

【実施場所】 豊中市立中央公民館 調理室等

【事業の対象者】 参加者延 60 名 ボランティア延 40 名
【収益】 208,008 円（うち助成金 172,008 円含む）
【費用】 208,008 円
【活動報告】 多くの子どもたちが参加し、6 月のハンバーグづくりに始まり、各回
お好み焼き、ミートソーススパゲティ&パンケーキ、手まり寿司、サンド
イッチなどと、毎回ボランティアの皆さんの助けを借りながらも、全員
一生懸命作り、自ら作った料理を試食し、みんなが「料理って、楽しい」
「むちゃ美味しい」「家でも作ってみたい」と好評でした。ボランティア
で参加の皆さんも障がいある子どもたちの可能性を改めて感じ、双方の
コミュニティの醸成も図られたと感じています。

ホ【事業名】親子療育支援事業

【実施内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、
『親子教室・リトハニクラブ』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後
援】で開催しました。困り感のある子どもの子育てに悩んでいる就学前
の子どもを持つ保護者を対象に、相談できる場・療育の場・仲間づくりの
場を提供し、子育てに悩む保護者にスタッフと先輩子育て経験者が寄り
添い、不安を少しでも解消できる「体験値を積み重ねられる場」として
『親子教室・リトハニクラブ』を開催しました。

【実施場所】平成29年7月11日（火）から12月5日（火）までの間、計10回

【事業の対象者】参加者（保護者含む）延 42 名

【収益】 102,133 円（うち助成金 77,905 円含む）

【費用】 102,133 円

【活動報告】 周知広報がうまく行かず、参加者が毎回当初の想定数を下回り、「仲間
づくりの場」としては課題を残したが、参加回数が重ねるごとに子ども
たちに「笑顔が多くなる」「落ち着いて参加する」「新しい環境になれる」
など、成長の変化が見られ、保護者の不安の解消に少しは繋がったと感
じています。この事業の継続性の大切さを実感し、次年度の継続実施に
向け課題を整理し、より多くの参加者によるネットワークの構築につな
げる必要性を感じました。

(3) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

ア【事業名】 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

【事業内容】 知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある人と子どもたちへの身
体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。ま
た、利用者本人の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立
に向けてご支援をさせていただきます。寄り添うことを心がけ、利用者本
人、保護者のニーズに合わせてサービス、将来の社会参加をめざしてのサ
ービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的役割も果たすべく、
サービスを実施します。

※以下、移動支援事業に同じ

【実施場所】 豊中市、大阪市淀川区など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】知的・発達障がいのある当事者など

【収益】【費用】 下記（４）に、（３）（４）事業を合算し報告

【活動報告】 下記（４）に、（３）（４）事業を合わせて報告

イ 【事業名】 就労支援事業（就労移行支援・就労継続支援B型）

ハニー・ビー ジョブは、平成 27 年 11 月に開所した多機能型事業所で障がいがあっても自立した生活が営めるように様々な知識やスキルを一人ひとりのニーズに添ったプログラムで一緒に考えています。

日中活動をととして自立、自活に向けて生活の質や豊かさを感じられ自己実現に繋がればと思っています。日中活動では社会性や社会生活スキルの学習はもとより余暇活動も積極的に取り入れマンネリ化しないようにメリハリのある活動に取り組んでいます。

作業での自主製品作りでは、今回、商品として紹介している季節のリース、マグネット、アロマストーンの他にもヘアアクセサリーや多肉植物・観葉植物の寄せ植えなども行っています。

また、ハニー・ビー ジョブ独自の生産販売活動として、地域の商店や企業の商品を市域の皆さんに宅にカタログを配り、受注をした商品の宅配と販売を行いお客様と関わる事で社会性やコミュニケーションスキルを体得し地域で当たり前前に生活できるための生活スキルを学んでいます。

平成29年度 ハニー・ビー ジョブ 主な事業と行事

月	平成 29 年度
5	余暇支援（野外活動 箕面大滝）・火災避難訓練
7	“豊中商店街七夕まつり出店・庄内西サマーカーニバル出店・新田南小夏祭り出店・岡町ちびっ子夜店大会出店”
8	豊中まつり出店・服部サマーまつり出店
9	国際交流フェスタ出店・わくわくフェスタ出店
10	ハロウィン祭り出店・社会見学（大阪市立科学館）・社会技能訓練（エキスポシティ）
11	とりかい祭り出店・地震避難訓練・社会技能訓練（調理実習カレーライス）
12	クリスマス会
1	初詣（豊中稲荷神社）・新年会
2	ANA空フェス出店
3	ボランティアフェスティバル出店・ちゃんぶる屋台村出店・お花見（大曽公園）
毎月	毎週水曜日 野菜販売、第4月曜日 利用者会議 第4月曜日 青年教室（豊中市補助事業） 軽運動・リズム体操

イ-1 【ハニー・ビージョブ就労移行】

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『社会参加は当たり前』『自立した生活が営めるよう』2 年間にわたり様々な活動と体験の機会を通して、就労に必要な知識の習得やスキルアップのための訓練等を適切・効果的に行ない、『はたらく』力を身につけ、就労の準備から就職活動・職場定着までサポートします。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年 1 年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 7,934,420 円

【費用】 11,752,281 円

【活動報告】 私達の思いは、未だ必要としている人たちに十分届かず、そして支援学校の進路選択は年々早くなってきており、進路決定時期(8月中旬に概ね決まる)に間に合わず、次年度の受け入れをめざして活動を開始するも、利用者の確保が容易ではなく、定員の6名を満たすことが出来ず、29年度の月平均利用者数は4.3人でした。

結果、受入体制の整備や維持費用が掛かり、経費が収益を上回る結果になりました。反省を踏まえて、体制を整備し、引き続き「就労移行支援事業」に拘りつつも、今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら自信を持って諦めないで、『障がいがあっても社会に出てはたらく』ことを示していきたいと思っています。

利用状況（定員6名）

平成29年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
月在籍者数	4	4	4	4	5	5	5	4	4	5	4	4	4.3
開所日数	20	23	22	23	21	23	22	23	20	20	20	24	261
延利用者数	75	84	82	83	85	96	94	74	57	49	38	69	886

イ-2 【ハニー・ビージョブB型】

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『自分らしく働ける』『就労をとおして、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わりの楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 4,701,636 円

【費用】 11,305,186 円

【活動報告】 29年2月に開所した就労継続支援B型は、開設間もないとはいえ就労移行支援事業と同様、定員の14名を満たすことが出来ず、29年度の月平均利用者数は3.3人でした。利用者の受入準備のための人的物的投資等の費用がかかり、このような結果になりました。就労移行支援事業同様に、引き続き利用者確保のために、今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら自信を持って『障がいがあっても自分らしく働ける』ことを示していきたいと思っています。

利用状況（定員14名）

平成29年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
月在籍者数	1	1	2	2	3	3	3	4	4	5	6	6	3.3
開所日数	20	23	22	23	21	23	22	23	20	20	20	24	261
延利用者数	20	22	37	41	52	54	54	78	77	71	83	94	683

イ-3 【就労支援生産販売収益活動】

【事業内容】 ハニー・ビー ジョブでは、毎日コンスタントに障がい者が6時間働

き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、「精神障害の人は短時間しか働けない」「知的障害の人には仕事は無理」などの周囲の偏見から、働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、就労移行・B型の利用者を見ていると、店頭販売などで働き・体験値を積むことで、次にはある程度自分で出来ることに繋がっていると実感しています。周囲の人の意識が変わる場合も多々経験してきました。

ハニー・ビー ジョブでは、自主製品の製作や地元企業を中心に特色ある商品の店頭販売や宅配活動を通じ、利用者に就労の機会を提供し、特性に応じた知識や能力の向上を目指し、働く事の達成感や満足感と、生産販売活動に従事した内容に応じた工賃の支給を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 ハニー・ビージョブ就労移行・B型の利用者

【収益】 5,459,711 円（商品等販売）

【費用】 4,937,502 円（うち売上原価 3,708,137 円）

（うち利用者工賃 344,925 円、一人当たり平均月額工賃支給額 4,893 円）

【活動報告】 今年度は、これまでの個人宅や学校等への配達、イベント出店などの販売に加え、自主製品の製作や新たに取り扱うこだわり商品などにより、豊中市社会福祉協議会関連の福祉の店「なかま」の運営に参画し、豊中駅構内の「なかまの店」に自主製品の常設と販売をはじめ、新たな販路拡大を行い、工賃向上に努めました。今後も「どうしたら出来るか」を考えて新たな事業展開により、生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃の支給額のアップをめざしていきます。なお販売活動状況は下表のとおりです。

自主製品の製作： お菓子のマグネット・クリップ、マグネットシートセット、多肉・観葉植物の寄せ植え、季節のリース、季節の飾り物、ヘアークセサリー等々、オリジナル商品製作

販売活動「八木屋」状況

販売場所等	販売品等	個所回数
豊中駅構内 なかまの店 （豊中市福祉の店「なかま」）	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	4回
地域福祉活動支援センター	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	3か所・4回
中央薬局店頭販売	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム・やさいなど	月2回
マルトヨ数磨店頭販売	りんごジュース&ジャム・やさいなど	月2回
ハニー・ビー ジョブ店頭販売	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム・やさいなど	月2回
八木屋宅配活動	やさい・パン・チーズケーキ・餃子など	約20軒
学校・事業所等出張販売	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム・やさい・パン・チーズケーキ・餃子など	40か所
豊中市厚生会幹旋販売	季節のリース・手作り味噌	1回

地域イベント出店	ゲーム「さかな釣り」「水鉄砲射的」 パン・自主製品、多肉・観葉植物・りんご ジュース&ジャムなど	17か所
----------	--	------

今後新たな事業展開により、生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃の向上を目指します。

(4) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある人や子ども達の外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動の際のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援を行います。利用者本人、保護者それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市、吹田市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 20,495,030 円【(3) アと(4) の合計】

(うち、(3) の介護給付費 8,093,112 円)

【費用】 17,517,354 円【(3) アと(4) の合計】

【活動報告】 (3) ア及び(4) いずれも知的・発達障がいの当事者に対して、将来の社会参加をめざすべく余暇支援や成功体験の積み重ねを図り、その先にある『地域で生きる』『働く』ことを常に意識し、居宅介護、重度訪問介護、同行援護並びに移動支援を行ないました。支援の中では、出来る限り前向きな姿勢で物事を捉え、『地域連携』を踏まえながら成功体験を重ね、利用者の皆さんが自らの行動に自信を持ち、暮らしに楽しみや充足感を持てるよう、意識をしました。

また第三者であるわたし達スタッフ（家族外）との『信頼して託していただけ』関係性を構築することをめざしました。一つ一つのかかわりを大切に、その小さな積み重ねが自信に繋がるだけでなく、将来にわたって繋がりがまた広がるものと思っています。

(5) 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業

【事業名】 放課後等デイサービス事業

(マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり、マイ児童デイサービス豊中本町)

【事業内容】 主に、知的・発達障がいのある子どもたち（小学校1年生から18歳）に対して、しっかりとした個別支援計画に基づいて、一人ひとりの障がいと個性を見つめ、通所にてサービスの提供をしました。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが主に中学・高校の児童（生徒）を対象にしており、マイ児童デイサービス豊中本町は中高生を対象にキャリアアップ支援を特徴とした療育を行い、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げニーズにあった支援を提供しています。学齢期にある児童の発達を促し、将来を見据えた社会生活を送るために必要な力を身につけ、将来働くということで自信に繋がるよう、個別療育と集団の中で培うことの出来る週間プログラムによるグループ療育の2面で支援を行ないます。

保護者はもとより、子どもたちにも分かりやすい家庭でも取り組める様な『療

育支援』のアドバイスなども行い、将来の自立（自律）へと促せるように寄り添う支援を心がけて事業を行っています。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 （そね）29,543,312 円 （はっとり）24,721,843 円
（豊中本町）15,908,299 円 計 70,173,454 円

【費用】 （そね）23,628,547 円 （はっとり）18,496,957 円
（豊中本町）14,448,417 円 計 56,573,921 円

（ア）マイ児童デイサービス（曾根事業所）

【活動報告】 今年度は、スタッフのスキルアップと事業の充実を図りました。今年度は、安定した人員体制のもと、無事に、平成29年度を終了する事ができました。昨年に続き地域の小学校に通う支援が必要な子どもたちが新たな仲間として加わり、ありがたいことに継続的に入所に関する問い合わせを頂いています。療育というところに特化し、『生活を基本とした生きるための療育支援』を踏まえて、新しいプログラムを取り入れた『更に一步踏み込んだ療育』へと進めていきました。

例えば毎週変わる『週間プログラム』に関しても『来所したからには、必ず参加させて、しなければ。』という事ではなく、スタッフ間で課題を整理し、それぞれの子どもの状況をしっかりと把握したうえで、現在は『個別支援計画』に基づき、『子どもたちの特性』などを考慮し、どのような形で取り組むのかなど、予めシュミレーションしたうえで、『その日の子どもたちの体調や調子』などを観察し、参加の仕方を配慮することで日々進化をしています。様々な場面で、生活習慣の向上をめざした療育を行えるようになりました。これからも保護者のニーズをうかがいながら、子どもたちが『なりたい自分になる』という夢や希望が持てるよう、またその期待を担うべく『ハニー・ビー』スタッフがー丸となって、個々の子どもたちに合った療育を提供してきました。

～今年度を実施した重点項目～

1. 個別支援計画書内容見直し

小学校低学年が多く在籍するそねの子どもたちのニーズ

：トイレや現実的に困難な内容を記載したものが多数あった。

：具体的には手先の巧緻性の向上や家庭とも連携してのトイレトレーニングの計画などを盛り込んだ。

2. 「週間プログラム」の改善

：個別支援計画書に基づき、それぞれの子も達の課題や動きを想定し改良を重ねながら実施するように変更した。

：興味が有る無しに関わらず、今まで気づかなかった子どもの新たな一面や発見を得られた。

3. 子どもたちの体調管理に留意

：体調の良い日、また悪い日も混在する中で、子どもたちは、何らかの原因により、泣いたり、また自傷行為、他傷行為に及ぶこともあった。スタッフは、その個々の状態を把握し、注意深く見守り（観察）、また経過を見ていく中で原因になるものを出来るだけ軽減していけるようにした。

【利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	220	230	244	225	166	227	225	214	202	179	183	192	2507
利用日数	23	25	24	23	23	23	24	24	21	22	22	25	279

平成29年度		週間プログラム (主な内容)											
4月	文字・言葉「自己紹介カード」体操「手足ぴったんこ2」クラフト「つくってあそぼう」など												
5月	クッキング「季節のおやつ作り」、せいかつ「ハサミとのりを使ってみよう」レクリエーション「みんなと仲よく」など												
6月	クラフト「壁面作り(夏を作ろう)」、せいかつ「みんなでリラックス」クラフト「七夕の準備」、うんどう「ボールを使って」など												
7月	文字・言葉「七夕の短冊作り」、体操「夏祭り踊り練習」、クラフト「夏の壁面作り」クッキング「夏を感じよう」など												
8月	クラフト「夏祭りの飾り作り」、レクリエーション「夏祭り前週祭」「夏祭り」など												
9月	音楽「音にあわせて」、リズム「みんなでおどろろ！」コミュニケーション「お友だち楽しく」、せいかつ「おはしをつかって」など												
10月	クラフト「小物作り」、レクリエーション「ゲームで楽しく」体操「身体を動かそう!」、クラフト「秋の壁面制作」など												
11月	「参観日週間」音楽・運動「寒さに負けず」、レクリエーション「ハロウィン楽しもう!」特別課題「避難訓練」など												
12月	クラフト「クリスマスの飾り作り」、「クリスマスプレゼント作り」せいかつ「年賀状作り」、ダンス「クリスマスに向けて」、「クリスマス会を開催」など												
平成30年	せいかつ「新年の抱負&お正月遊び」、「新年の抱負&お正月遊びパート2」												
1月	ダンス「レッツダンス」、クラフト「節分だ! 鬼のお面作り」など												
2月	レクリエーション「豆まき」、クッキング「バレンタインチョコ」運動「寒さに負けない体づくり」、クラフト「春の壁面制作」など												
3月	レクリエーション「おともだちとつながろう」、ダンス「ダンス1年総復習!!」文字・言葉「卒業・進級の抱負」、せいかつ「進級卒業お祝い会」など												

(イ) マイ児童デイサービスはっとり(服部事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生から高校生 3 年生(一部小学生を含む)を対象とした障がい児通所支援事業を行ないました。

個々に対応した個別支援計画を作成し、その個別支援計画に基づき、グループとする療育と個別にする療育(自立課題)について、毎日のプログラムと週間プログラムを作成しました。

- ① 毎日のプログラムは、個別支援計画に基づきグループ別と個別の二通りの支援方法で作成しました。
- ② 週間プログラムは、週ごとに、挨拶・お金の理解・クッキング・クラフト・体を動かすなどの項目を、その季節にあった内容で作成し療育支援した。
- ③ 土曜日デイのプログラムを更に 4 月から充実させました。
第 1 週目 プレ就労 電車編 (切符を買って電車に乗ろう)
第 2 週目 就労プログラム(選抜メンバー)
第 3 週目 プレ就労 クッキング編(料理を作ってマナーを身に付けよう)
- ④ 就労プログラム(選抜メンバー) 12 名は、挨拶や作業終了の報告ま

た作業中の態度、自己紹介の仕方など、実際の事業所での実習作業を実施しました。

【利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	146	162	193	181	164	183	200	185	190	176	179	196	2155
利用日数	23	26	25	23	22	24	25	25	22	23	23	24	285

平成29年度		週間プログラム（主な内容）
平成29年	うんどう「そとでうんどうしよう」、仕事・生活「そうじを学ぼう」	
4月	たんけん「新入生歓迎会・オリエンテーション」、数字「お金の理解」など	
5月	たいそう「ストレッチをしよう」、生活・仕事「そうじ道具の使い方」、 数字「お金の理解」、クラフト「家族へのプレゼント」など	
6月	たいけん「野菜を育てよう」、マナー「あいさつ練習」 生活・仕事「そうじ道具の使い方」など	
7月	文字・言葉「七夕の短冊作り」、クラフト「夏祭り準備」、数字「お金の理解」など	
8月	クラフト「夏祭りの準備」、レクリエーション「夏祭り」など	
9月	マナー「あいさつ練習」、体験「避難訓練」、数字「お金の練習」など	
10月	クッキング「秋のクッキング」、生活「あいさつ練習」 クラフト「ハロウィンクラフト」など	
11月	クラフト「壁面製作」、数字「お金の理解」、生活「お金の理解」など	
12月	生活「あいさつ練習」、クラフト「クリスマスプレゼント」 レクリエーション「クリスマス会」など	
平成30年	クラフト「壁面製作」、書字「書初め」、生活「あいさつ練習」、クラフト「節分の準備」など	
1月		
2月	レクリエーション「豆まき」、クラフト「紙ヒコーキをつくろう」、体験「避難訓練」など	
3月	クラフト「壁面製作」「アルバム作り」、レクリエーション「お別れ会」 マナー「あいさつ練習」など	

2017年度（平成29年）就労プログラム計画

法人としての ビジョン	障がいがあっても社会参加は当たり前 みんなに優しい共生社会の実現
重点目標	働く意識の向上をめざす 働く上で大切なことを学ぶ
課 題	挨拶、コミュニケーション（報告・連絡・相談 ホウレンソウの実施） 聞くこと、尋ねることの重要性、集中力の習得、根気強さ、 時間を守るなど労働習慣と作業する力をつける
具体的な活動内容	自分の名前、生年月日、住所、保護者の名前などが言える、書ける 挨拶が出来る（TPOに応じて、意味が分かる）、自己紹介 清掃をする（要所を伝えてしっかりと取り組む）
毎月の内容	今までの挨拶の練習、自己紹介カード、振り返りは継続して行なう 月1回実施 10名限定 指導員3名（少人数で） 長期休暇中の平日（8月）3日～5日間 身近な実習先から実際の職場体験をする

	<p>【夏の実習予定先】</p> <p>ハニー・ビー ジョブ 多機能型事業所</p> <p>大阪府庁公館、阪神友愛食品、コープこうべなど</p> <p>人との関わり、清掃作業、もの作り、接客、販売などを体験する</p>
--	---

年 間 実 施 計 画

4/8（土）	<p>身だしなみ、ビジネスマナーについて学ぼう</p> <p>働くということとは？ 作業実習 6種類の作業チェック①</p> <p>5月のお仕事体験の話を聞く</p> <p>菜の花デイサービス（高齢者デイ）</p> <p>豊中市スポーツ振興事業団など見学予定</p>
5/13（土）	菜の花デイサービスお仕事、豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
6/10（土）	菜の花デイサービスお仕事、豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
7/8（土）	宿泊体験の準備作業 指示で行動する、名札づくり、備品準備など
8/7（月）～ 10（木）	<p>職場実習体験 希望者のみ 指導スタッフ同行</p> <p>阪神友愛食品、物作り、清掃作業等に12名参加</p>
9/9（土）	作業実習 6種類の作業チェック①、夏休みの振り返りなど
10/28（土）	<p>イベント 看板作り、名札作り、備品の準備など</p> <p>ねらい：29日開催の「さんあいイベント」のためのイベントの準備や 司会、当日までの準備調整など</p>
11/11（土）	菜の花デイサービスお仕事、豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
12/9（土）	<p>12月9日</p> <p>クリスマスカードの作成、その他</p> <p>ねらい：人のために、仕事をすることの喜びを感じる。みんなで協力して、やり遂 ることで、達成感を得ることで自信に繋げる。また、感謝される喜びを実感する。</p>
12/26（火）～ 27（水）	阪神友愛食品株式にてリサイクル作業10名参加（希望者のみ）
1/13（土）	<p>作業実習 6種類の作業チェック①</p> <p>2月の昼食作りのための話し合い</p> <p>ねらい：3つのグループに分かれて昼食の献立をみんなで考えて、実際に 買い物に行き（@400円×人数分）、料理を作って、みんなで楽しく食 べ、片付けもする。計画性、協調性を養う。</p>
2/10（土）	<p>チーム別調理実習、3月の準備など</p> <p>ねらい：計画を立て、考えた献立を実際で作って、食べよう。協調性を養おう。</p>
3/10（土）	<p>まとめ、発表、みんなで卒業生を囲んで、記念撮影</p> <p>ねらい：1年を振り返って、様々なプログラムの中でそれぞれのメン バーの良かったことなどを称賛しながら、皆勤者、また卒業生を労い （花束贈呈）、来年度への士気を高める。</p>

☆29年度就労プログラム 一日の流れ 【基本パターン】☆

13:00	<p>手洗い、うがい、保護者からの聞き取り（健康状態など）</p> <p>連絡帳提出、トイレなど</p>
13:10	挨拶ことば、自己紹介

14:00	その日のプログラム①
15:00	おやつタイム・休憩
15:10	トイレに行くなど 時間の意識（時計を見る、時間配分）
15:15	その日のプログラム②
16:15	清掃作業
16:30	1日の振り返り 感想（書いて発表）
16:50	終了
17:00	お帰り その日の様子を保護者に伝える

（ウ）マイ児童デイサービス豊中本町(本町事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生から高校生 3 年生（一部小学生を含む）を対象に、就学中から働くことの達成感や充足感をより身近に感じ、更なるキャリアを積み上げることを目的としたキャリアアップ支援型の放課後等デイサービス事業所を開設し、障がい児通所支援事業を行ないました。

個々に対応した個別支援計画を作成し、その個別支援計画に基づき、グループとする療育と個別にする療育（自立課題）について、毎日のプログラムと週間プログラムを作成しました。

【利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	112	99	99	101	107	94	110	104	106	96	98	96	1222
利用日数	20	23	22	21	20	21	22	22	19	20	20	22	252

平成29年度	週間プログラム（主な内容）
4月	マナー『オリエンテーション』『あいさつと自己紹介』 クッキング『春のクッキング』作業『そうじを学ぶ』 たいそう『体を動かそう』など
5月	クッキング『5月のクッキング』『☆春のパフェ作り☆』 たいそう『ストレッチをしよう!』、リトミック『リズムに合わせて』 せいかつ『ハサミとのりを使ってみよう!』『みんなでリラックス♪』 『そうじ道具の使い方』、クラフト『家族へのプレゼント』、 レクリエーション『仲間と楽しく遊ぼう』、数字『お金の理解』など
6月	マナー『あいさつと自己紹介』、クッキング『初夏のクッキング』 せいかつ『そうじ道具の使い方』、クラフト『七夕クラフト』、 数字『お金の理解』など
7月	マナー『あいさつと自己紹介』、クッキング『夏のクッキング』、 たいそう『体を動かそう』、数字『お金の理解』など
8月	企業見学、体験職場体験実習 阪神友愛食品『サツマイモ畑の水やり』 クラフト『秋のクラフト』、レクリエーション『お楽しみ会』など
9月	マナー『あいさつと自己紹介』、クッキング『秋のクッキング』 クラフト・文字『紙すきとはがき』 数字『お金の理解』『お金とクッキング』、避難訓練など
10月	マナー『あいさつと自己紹介』、クッキング『実りの秋クッキング』 たいそう『スポーツをしよう』、体験『作業実習』、芋ほり 数字の理解『お金の理解』など

11月	クッキング『秋の収穫クッキング』、クラフト『秋のクラフト』 数字の理解『お金の理解』『計量にチャレンジ』 文字・言葉『あいさつと自己紹介』など
12月	クッキング『秋の収穫クッキング』 文字・クラフト『年賀状作り』『クリスマスプレゼントづくり』 体験『音楽に親しむ』『職場体験実習 阪神友愛食品』など
平成30年 1月	クラフト『かるた作り』、文字・言葉『あいさつと自己紹介』 体験『初詣と書初め』、数字の理解『お金の理解』など
2月	マナー『あいさつと自己紹介』 クッキング『節分クッキング』『バレンタイン クッキング』 クラフト『冬のクラフト』、数字『お金の理解』など
3月	マナー『あいさつと自己紹介』、クラフト『アルバム作り』 体験『お花見』『作業実習』、レクリエーション『お別れ会』など

(エ) マイ児童デイサービス合同開催行事

29年5月	春の遠足 万博記念公園への遠足（そね・はっとり合同） 【感想から】 公園内の森の学校でクラフトをしたり散歩をしたりして楽しめました。 サツマイモの苗植え（豊中市スポーツ振興事業団主催）に参加
29年6月	交流会実施 豊中保健所 松岡 太郎所長 ご講演 マイ児童デイサービス・アプリコット・相談支援・豊中保健所合同
29年8月	夏祭りを各事業所で開催 【感想から】 今年も、そね・はっ通りの利用者とそれぞれの事業所で夏祭りを満喫しました。射的やスーパーボールすくいなど子ども達の大好きなゲームやスイカ割り、そうめん流しなど涼しいメニューも新しく取り入れ夏ムード満載の中で盛り上がりました。スタッフと協力して、それぞれに工夫を凝らして、ゲームコーナーや飾りつけ、食べ物コーナーも充実していました。デイの活動プログラムで作成した作品を展示してお祭りの雰囲気も盛り上げました。
29年10月	サツマイモの収穫（豊中市スポーツ振興事業団主催） 「今年のお芋は、どうかな?」「ここに、みえてるやん。」「土って、あったかいねんな」ワクワクしながらスコップを片手に、お芋ほりにのぞんだ子ども達です。「大きい!」「おっきい!」とあちらこちらから子ども達の声が聞かれるくらいよく育っていました。最後には軍手での作業ももどかしかったようで、素手で掘り起こしていました。 自分で掘り出したお芋に関しては、とても感動的だったようです。何度も触って確かめ、に眺めていました。持ち帰ったお芋は、どんな料理に変身したのかな?おやつでも調理して食べることができ、『食育』食べ物に興味を持つ事が出来ました。
29年12月	クリスマス会 岡町の福祉会館で、スタッフと家族・イオンデイライトアカデミー(株)のボランティアのご協力のもと、そね・はっとり・豊中本町合同で開催しました。各事業所から工夫を凝らした出し物やボランティアのマジックショーがあり、会場内はクリスマスカラーに染まりました。オリジナルケーキ作りやサンタさ

	ん、トナカイさんの登場で子どもたちは大喜び！！子ども達が一生懸命に作ったプレゼントの交換もありました。プレゼントは気に入ってくれたかな？
30年2月	ANA ハニー・ビー合同イベント「家族で楽しむ空フェス」 全日本空輸(株) (ANA) の理解と協力により、ANA との合同イベントをANA整備工場で開催いたしました。普段では見ることでできない施設の公開などもあり、多くの利用者が家族と共に一日を楽しく過ごしました。 イベント内容：格納庫見学、お仕事体験（ANA制服着用、機内アナウンス体験、搭乗体験、機内飲料の提供体験）、特例子会社の就労体験、就労相談、ANAのグッズ販売、ハニー・ビーのパン、自主製品の販売、ゲームコーナー（魚釣り・わなげ・スマートボール）、ANA空楽隊の演奏

（オ）マイ児童デイサービス共通事項

平成29年度の放課後等デイサービスにかかる基準改正により、「放課後等デイサービスガイドライン」の内容に沿った評価項目が規定され、それに基づく保護者評価と事業所自己評価を行い、評価及び改善の内容をおおむね1年に1回以上、公表することが義務付けられました。

マイ児童デイサービス（そね）、マイ児童デイサービスはっとり及びマイ児童デイサービス豊中本町の3事業所では、本ガイドラインに沿って、保護者評価並びに事業所自己評価を実施し、平成30年3月末日までに、法人のホームページにその結果を公表しました。今後とも、日々業務の見直しを行い、「選んでいただけるサービス」の向上に取り組み、適正なサービスの提供に努めます。

（六）障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業名】 障がい者の就労・職域開発事業

【事業内容】 毎日コンスタントに障がい者が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、『どうせ、出来ない。』との周囲の偏見から働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、実際に支援を受けながらも、働き・体験値を積むことで、意識が変わる場合も多々経験してきました。そのような、働き方、また就業環境を広く知ってもらいたいという意味を込めて、障がい者の就労・職域開発事業を推進する役割をしっかりと果たしてまいります。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【活動報告】 『障がいがあっても社会参加は当たり前～支援があれば働ける～』のハニー・ビーの理念のもと、障がい者と健常者が共に同じ職場で継続的に働き続けられる事業所を開設し、障がい者及び障がい者を支える人々を採用し、一人ひとりの特性を活かした就労に繋がる育成をしてきました。

29年3月末日現在で、就労支援事業所、放課後等デイサービス事業所で、4名の障がいのある職員が、健常者と共に自らの職務をこなし、法人の職員として、事業の推進に貢献しています。ハニー・ビーでは、障がいのある職員と支援する職員の就労環境を検証しながら、今後とも事業を支える人材となる障がい者に対し、就労の機会の提供に努め、人材育成の職場環境の整備に一層努めてまいります。

- (7) 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業
- (8) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業
- (9) 児童福祉法に基づく障がい児相談支援事業

【事業名】 相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある人を対象に、利用者の意思及び人格を尊重して、子ども達の将来に関わる相談に応じ、常に利用者の立場に立った適切な計画を立てていきます。当事者や家族と共に相談をしながらどのような暮らしがしたいのか、そのためにはどのようなサービスが必要か、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から一人ひとりにあった支援計画を作成します。障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え、支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市、箕面市、吹田市、大阪市淀川区

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・家族等

【収益】 9,979,951 円

【費用】 3,549,419 円

【活動報告】 障がいのある人たち、特に障がい児に特化したサービスの提供を大切に、知的・発達障がいのある人や子ども達の将来に関わる相談に関しても、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談、寄り添う支援を心がけながら、支援計画立てさせていたできました。

実際に「やってみよう！」の言葉を引き出すまでには、時間はかかりますが、利用者の将来の自立した姿を思い描きながら、利用者本人や家族のお話を傾聴し、利用者さん自身が「これから、どのような暮らしがしたいのか」生活自体の楽しさが見えてくるような、利用者とその家族に寄り添った相談に心がけました。

(10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【収益】 625,828 円（受取会費 598,000 円含む）

【費用】 183,538 円

(ア) 【事業名】 自立と就労参加を実現するための情報発信事業

【事業内容】 ハニー・ビーの理念である『障がい者の自立・就労の意義』を普及するためのネットワークを構築するべく、豊中市をはじめ周辺自治体を含め啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 豊中市内、大阪市内、周辺自治体

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障害福祉事業所、企業、行政機関、地域団体、NPO など

【活動報告】 協力関係にある大阪 NPO センターなどからの支援をはじめ様々な事業所とネットワークを構築する足がかりとなる一年であったと思います。来年度に向けて、理事長だけでなく理事、スタッフなど様々な人材がハニー・ビーの代表者となりミツバチのように色々なところへと媒介していくことが出来る準備が整いつつあります。

(イ)【事業名】 通信発行事業

【事業内容】 ハニー・ビーの活動報告や情報を盛り込んだ『ハニー・ビー通信』を定期的に発行することにより、さらなる啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 支援学校、豊中市立小学校、中学校、行政機関など

【実施日時】 通年毎月

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民など

【活動報告】 今年度は、ハニー・ビー通信第 103 号から 113 号まで発行しました。沢山の皆さんと出逢い、お話をさせていただく事で、ハニー・ビーの活動に興味を持っていただけたと自負しております。その中で、顔をあわせる機会は少なくても、月に一度は送らせていただくことによって、『頑張っているのだな。』『逆に元気をもらった。』との感想をいただき、嬉しい限りです。これからも継続は力なり、一生懸命皆さんとのご縁を感じながら、繋げて行きたいと思います。

(ウ)【事業名】 職員研修事業

【事業内容】 ハニー・ビーでは、当法人の運営理念を全職員が認識し「選ばれるサービス」を目指し、知識と技能を兼ね備えた業務遂行能力の向上を図るため、毎年「職員研修実施方針」を定め、すべての職員を対象に研修を実施します。

【実施場所】 当法人事業所等

【実施日時】 基本毎月

【事業の対象者】 当法人職員、その他必要と認める関係者

【活動報告】 平成 29 年度は、「職員研修実施方針」に従い、運営理念、事業関連、人権関連、安全管理等の研修を実施しました。

(平成 29 年度研修実施状況)

研修 実施日	研修テーマ	研修講師	研修対象	受講 人数
29.4.3	ハニー・ビーの理念と基本方針	理事長	職員	29
29.5.11	幸せになるための人生講座	府子ども家庭サポーター 辻 由起子	職員、保護者等	22
29.6.15	食中毒防止について	豊中市保健所衛生管理課	職員	15
29.7.20	発達障害について	豊中市保健所長 松岡 太郎	職員、保護者等	24
29.8.4	ハニー・ビーの役割について	介護共育研究会代表 石川 立美子	職員	14
29.9.21	小児てんかんの症状と対応	阪南中央病院小児科医 中田 成慶	職員	14
29.10.19	障がい児の理解と支援	豊中市立しいの実学園	職員	13
29.11.30	音楽療法について	音楽療法士 宮田 加代子	職員、保護者等	25
29.12.21	障がい者虐待について	豊中市障害福祉センター	職員	13
30.1.18	障がい者主役の職場づくり	(株)ダイキンサンライズ摂津 顧問 後藤 金丸	職員	21
30.2.15	ゲートキーパー養成講座	豊中市保健所保健予防課	職員	10
30.3.20	応急手当普通講習	豊中市消防局救急救命課	職員	14

Ⅳ 社員総会の開催状況

第8回通常総会

(日 時) 平成 29 年 6 月 22 日 (木) 19 時から 19 時 45 分
 (場 所) 豊中市本町 6 丁目 8-1 金岡ビル 2F マイ児童デイサービス豊中本町
 (出席者数) 17 名 (うち委任状出席者 10 名) 【社員総数 19 名】
 (内 容) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告承認の件
 審議の結果、全員一致で可決承認
 第 2 号議案 平成 28 年度決算承認及び監査報告の件
 審議の結果、全員一致で可決承認
 報告事項
 平成 29 年度事業計画並びに予算について報告があった。

Ⅴ 理事会その他の役員会の開催状況

(理事会は、注釈無しの場合は豊中市本町 6 丁目 8-1 金岡ビル 2 階 理事長室にて開催)

	開催日・出席理事数	決議事項・報告内容等
第 1 回理事会	平成 29 年 4 月 20 日 (木) 4 名	決議事項 なし 報告内容 昨年度の活動状況、決算見込み等
第 2 回理事会	平成 29 年 5 月 25 日 (木) 4 名	決議事項 第 8 回定時総会の開催について 28 年度事業報告及び決算書類の総会提出に ついて 報告内容 4 月の活動状況について
第 3 回理事会	平成 29 年 7 月 27 日 (木) 4 名	決議事項 8 月 1 日付け人事異動について 報告内容 5 月、6 月の活動状況について
第 4 回理事会	平成 29 年 8 月 24 日 (木) 4 名	決議事項 有期従業員就業規則 (賃金) の改定について 報告内容 7 月の活動状況について
第 5 回理事会	平成 29 年 9 月 21 日 (木) 4 名	決議事項 なし 報告内容 8 月の活動状況について
第 6 回理事会	平成 29 年 10 月 19 日 (木) 4 名	決議事項 なし 報告内容 平成 29 年度上半期の活動状況について
第 7 回理事会	平成 29 年 11 月 16 日 (木) 4 名	決議事項 12 月賞与の支給について 実地指導に係る改善状況の報告について 報告内容 10 月の活動状況について
第 8 回理事会	平成 29 年 12 月 28 日 (木) 5 名	決議事項 なし 報告内容 11 月の活動状況について
第 9 回理事会	平成 30 年 1 月 26 日 (金) 5 名	決議事項 なし 報告内容 12 月の活動状況について
第 10 回理事会	平成 30 年 2 月 22 日 (木) 5 名	決議事項 マイ児童デイサービス豊中本町の事業休止に ついて 報告内容 平成 29 年度決算状況の見通しと 来年度事業計画について
第 11 回理事会	平成 30 年 3 月 22 日 (木) 5 名	決議事項 来年度の事業計画と予算の承認 平成 30 年度職員研修実施方針について 報告内容 2 月度の活動状況と決算予測